

防災マップとは

- 「防災マップ」とは、地域内で災害時に役立つものや危険なものなどを地図上に書き込んだものです。
- 自主防災活動を進めるうえで、災害が発生した時に、慌てず冷静に素早く適切な対応ができるようにするためにも重要な道具といえます。

「防災マップ」とは、地域内で災害時に役立つものや危険なものなどを地図上に書き込んだものです。

「防災マップ」には、一般的に次のような情報を盛り込むことが考えられます。

《「防災マップ」に盛り込む情報（一例）》

◆いざという時に役立つ物

学校、公園、資材置き場、公共施設、避難場所、防火用水、医療施設など

◆災害が発生した場合、危険な物や場所

過去の被災箇所、狭い道、がけ地、古いブロック塀など

◆避難行動

災害時要援護者の把握、避難路の確認など

このような地域の情報は、「何となく知っている」という方も多いと思います。

しかし「いざ」という時には、「何となく」では本当の力にはなりません。

「防災マップ」は、こうした地域の情報をみんなで共有し、自主防災活動を進めるうえで、災害が発生した時に、慌てず冷静に素早く適切な対応ができるようにするためにも重要な道具（ツール）といえます。

〈防災マップのイメージ〉

